

# インフォメーション・コーナー

## 会 告

○公益社団法人農業農村工学会第53回定時総会の報告	78
○2020年度名誉会員の推挙	79
○第27期理事役職者の選定および会務分担	79
○2021年度農業農村工学会賞候補の推薦(再) 締切 10月31日	80
○今年もやります! 農業農村工学会ミニ動画コンテスト“こりゃ映像! 2020” 応募締切 7月31日	80
○新刊「改訂6版 農業農村工学標準用語事典」の発刊	81
○お願い!! 新技術開発と人材確保・育成のための学術基金制度へのご寄付	81
○CPD機構から重要なお知らせ	82
○学会誌掲載報文等によるCPD通信教育の参加者募集!!	82
○2021年の学会誌表紙写真の募集 夏季締切 9月30日	83
○「水土の知(農業農村工学会誌)」への投稿お待ちしております!	83
○農業農村工学会論文集におけるコレスポンディングオーサーの記載	85
○PAWESS台湾大会2020(台北)の1年延期	85
○国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2020年7月から2021年6月までの編集体制と編集事務局	85
○令和2年度東北支部総会・第62回東北支部研究発表会ならびに第52回東北支部研修会・ 第42回地方講習会の開催(第2報) 発表申込締切 9月18日	86
○混相流シンポジウム2020の開催 8月21~23日開催	86
○第36回ファジィシステムシンポジウム/FSS2020の開催 9月7~9日開催	87
農業農村工学会論文集 内容紹介	88
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」誌 最新号掲載論文紹介	89
農業農村工学会技術者継続教育機構認定プログラム(一般参加可) 一覧	90
学会記事	91

### 第88巻第8号予定

展望: 福与徳文

小特集: 「多様な主体が住み続けられる農村」の振興

報文: 地域住民と農業者の連携を目指した地域活動の事例: 矢挽尚貴ほか

報文: 豪雪中山間地の集落活動に重要な役割を果たす集落営農: 寺尾桃香ほか

報文: 断水時における農業・農村関連施設の活用事例と対策: 和泉晴日ほか

報文: 農村社会での多様なニーズとそれをくみ取るしくみ作り: 原田茂樹ほか

報文: 水田地域が有する雨水貯留機能による豪雨対策: 西小野康平ほか

技術レポート

北海道支部: ドローンを活用した道路舗装の健全性診断: 土田将人ほか

東北支部: 太陽光発電施設における柱状改良杭基礎工の採用: 菅野将央

関東支部: 「縄文の里地区」における景観に配慮した農業用水路の設計: 土屋耕太

京都支部: 水茎地区における基礎地盤改良工法: 西尾 猛

中国四国支部: 重ね池の統廃合にかかる費用の比較検討事例: 喜多一夫ほか

九州沖縄支部: 農業集落排水処理施設の改築事例(JARUSⅢ型→XⅣ<sub>H</sub>型): 鶴田政伸

私のビジョン: 農業農村工学分野での研究・教育について考えること: 辻本久美子

## 農業農村工学会行事の計画

農業農村工学会行事について、下表のように計画しています。ふるって参加くださるよう、お待ちしております。

ⓑのマークは、技術者継続教育機構の認定プログラムとして認定されたもの、および認定申請中のものを表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
2020年 8月25～27日	大会運営委員会	2020年度（第69回）農業農村工学会 大会講演会	—	Web形態	87巻12号 88巻1,4,7号
2020年 10月22, 23日	中国四国支部	第75回講演会・第44回地方講習会	—	高知市	88巻5号
2020年 11月5, 6日	東北支部	令和2年度総会・第62回研究発表会・ 第52回研修会・第42回地方講習会	—	Web形態	88巻6,7号
2020年11月 11, 12日	京都支部	第77回支部研究発表会	—	福井市	88巻4,6号
2020年11月 12, 13日	九州沖縄支部	令和2年度支部大会	—	長崎市	88巻4号
2020年 11月18日	関東支部	第71回支部大会	—	さいたま市	88巻6号

## 公益社団法人農業農村工学会第53回定時総会の報告

- 日時 2020年5月25日（月）14:00～14:40
- 場所 農業土木会館2階A会議室
- 代議員現在数及び定足数 現在数122名 定足数61名
- 出席代議員数 97名（内、出席3名、書面により議決権を行使した代議員63名、委任状により議決権を代理行使した代議員31名）

## 5. 定足数の確認等

総務部長が、定款第21条に基づき定足数の充足による本定時総会の成立を確認した。

- 出席役員 山路永司副会長、小泉 健専務理事

## 7. 議長の選出

事務局提案の水見 洋代議員を全員一致で議長に選出した。

## 8. 議事録署名人の選出

議長が議事録署名人2名の選出について諮ったところ、下舞寿郎、松田祐吾の両代議員を全員一致で選出した。

## 9. 議事

## 決議事項

- 議案-1 2019年度事業報告

専務理事から同議案について説明があり、事業計画に掲げた事項が遂行された実績を確認し、審議の結果、提示案どおり全員一致で可決した。

- 議案-2 2019年度決算

専務理事から同議案について、財務諸表をもとに公1調査研究等事業会計、公2技術推進事業会計及び法人会計の説明及び監事監査の報告があった。審議の結果、提示案どおり全員一致で可決した。

- 議案-3 名誉会員の推挙

専務理事から同議案について、18名の方の名誉会員推挙の説明があった。審議の結果、提示案どおり全員一致で可決した。

- 議案-4 役員の選任

第26期役員の任期満了に伴い、第27期役員候補一人一人について、次のとおり選任した。

## 理事 20名

井上 京、猪迫耕二、小泉 健、齊藤政満  
凌 祥之、白谷栄作、田中丸治哉、丹後晋哉  
近森秀高、西村 拓、姫野俊雄、平松和昭  
藤原正幸、坊垣昌明、堀野治彦、舩谷雅広  
毛利栄征、森 淳、森 博信、龍 尊子

## 監事 2名

亀井隆夫、長坂貞郎

## 報告事項

- 報告事項-1 2020年度事業計画

専務理事から2020年度事業計画について説明があった。

- 報告事項-2 2020年度予算

専務理事から2020年度予算について説明があった。

議長は、以上をもって議案の審議等を終了したので、14時40分議事の終了を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに署名捺印する。

2020年5月25日

公益社団法人農業農村工学会第53回定時総会  
（議事録作成者）

議長 水見 洋  
署名人 松田 祐吾  
署名人 下舞 寿郎

## 2020 年度名誉会員の推挙

2020 年 5 月 25 日に開催された第 53 回定時総会の推挙により、以下の皆様が新たに名誉会員となりました。  
これにより名誉会員の現在数は、291 名となりました。

### 新規名誉会員（敬称略）

阿藤敏明, 上野敏光, 内田一徳, 奥村太樹雄, 海田能宏  
工藤 明, 権平哲三, 佐藤祐次, 高瀬和昌, 土橋正明  
成瀬 哲, 野中大成, 福島昭一, 藤原寿美, 細川吉晴  
三島康彦, 八島茂夫, 山本 章

## 第 27 期理事役職者の選定および会務分担

2020 年 5 月 25 日開催の第 260 回理事会において、理事の中から定款第 27 条第 2 項の規定に基づき会長、副会長、専務理事を選定した。

また、第 27 期理事の会務分担および常置委員会委員長等を次のように決定した。

### 記

#### 1. 会長等

会 長 平松和昭  
副 会 長 齊藤政満  
副 会 長 西村 拓  
副 会 長 森 博信  
専務理事 小泉 健

#### 2. 理事の担当部門

〔担当部門〕	〔総括する副会長〕	〔担当理事〕
企画・運営業務	齊藤政満	白谷栄作, 近森秀高 丹後晋哉, 姫野俊雄
学会誌等定期刊行活動	西村 拓	白谷栄作, 藤原正幸 近森秀高, 龍 尊子 井上 京, 森 淳 毛利栄征, 田中丸治哉 猪迫耕二, 凌 祥之
講演会等行事活動	齊藤政満	外谷雅広, 白谷栄作 堀野治彦, 丹後晋哉 坊垣昌明
調査・研究活動	西村 拓	白谷栄作, 藤原正幸 堀野治彦, 姫野俊雄

編集・出版活動	森 博信	外谷雅広, 龍 尊子 坊垣昌明
国際活動	西村 拓	藤原正幸, 堀野治彦 近森秀高
技術者教育活動	森 博信	外谷雅広, 坊垣昌明 近森秀高, 丹後晋哉 龍 尊子
支部業務	齊藤政満	西村 拓, 森 博信 井上 京, 森 淳 毛利栄征, 田中丸治哉 猪迫耕二, 凌 祥之

#### 3. 第 27 期常置委員会委員長等

企画委員会	白谷栄作
広報委員会	姫野俊雄
定期刊行物委員会	白谷栄作
学会誌企画・編集委員会	近森秀高
論文集企画・編集委員会	藤原正幸
研究委員会	堀野治彦
出版企画委員会	龍 尊子
行事企画委員会	丹後晋哉
学術基金運営委員会	齊藤政満
国際委員会	西村 拓
学会賞選考委員会	西村 拓
上野賞選考委員会	堀野治彦
スチューデント委員会担当	近森秀高
JABEE 担当	凌 祥之

## 2021年度農業農村工学会賞候補の推薦(再)

2021年度の農業農村工学会賞(上野賞, 沢田賞を除く)を、は学会ホームページ(<http://www.jsidre.or.jp>)をご参照く募集要項に則って、推薦書によりご推薦ください。ださい。

締切は、2020年10月末日です。推薦書様式および授賞規程

## 2021年度 農業農村工学会賞 募集要項

賞の種類	奨励賞		優秀賞				
	研究奨励賞	技術奨励賞	優秀論文賞	優秀報文賞	優秀技術賞	優秀技術リポート賞	
賞の趣旨	農業農村工学に関する学術または技術の進歩に寄与すると認められる優秀な業績		農業農村工学に関する学術または技術についての優秀な業績				
賞の対象期間	2015年10月から2020年9月までに発表されたものとする。ただし、その5か年以内に発表したものと同一の課題については、それ以前に発表されたものも、一連の業績とすることができる。	2017年10月から2020年9月までに発表されたものとする。ただし、その3か年以内に発表したものと同一の課題については、それ以前に発表されたものも、一連の業績とすることができる。	2017年10月から2020年9月までに発表されたものとする。ただし、その3か年以内に発表したものと同一の課題については、それ以前に発表されたものも、一連の業績とすることができる。	2019年10月から2020年9月までに発表されたものとする。	2019年10月から2020年9月までに発表されたものとする。	2018年10月から2020年9月までに発表されたものとする。	2015年10月から2020年9月までに発表されたものとする。
賞の対象業績	原則として本学会の刊行物に発表された論文、報文等とする。		原則として本学会の刊行物に発表された論文とする。	原則として本学会の刊行物に発表された報文とする。	原則として本学会の刊行物に発表された論文、報文等とする。主として現場調査資料、現場技術報告書とする。	原則として本学会の刊行物に発表された技術リポートとする。	
受賞候補者	個人			個人または組織、団体			
推薦の方法	正会員および名誉会員の自薦、他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績(コピー可)を1部提出する(いずれも返却しない)。			正会員および名誉会員の自薦、他薦または学会誌・論文集の企画・編集委員会の推薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績(コピー可)を1部提出する(いずれも返却しない)。			

賞の種類	著作賞	教育賞	環境賞	歴史・文化賞	地域貢献賞	国際貢献賞	メディア賞	功労賞
賞の趣旨	原則として一般に市販されている図書の中で、農業農村工学に関する学術または技術を広く世に紹介することに顕著な貢献をしたと認められる業績	農業農村工学に関する教育、技術者の継続教育など資質の向上に寄与したと認められる活動で優れた業績	農業・農村の生産・生活環境の改善や生態系保全など、美しい環境の保全や創出において優れた計画および施工を行い、もしくは管理・保全活動を行った業績	農業農村工学に関する歴史・文化を広く世に紹介し、あるいは研究分析などを行った業績	農村地域社会の発展・活性化に貢献した業績	農業農村工学に関する学術または技術について、国際的な交流や調査研究で優れた業績	農業農村工学を紹介したパンフレット、ビデオ作品、教材スライド、映画等	長年にわたる、地道な教育・研究または実務の積み重ねを通じて、農業農村工学の学術または技術の進歩発展に多大の功労があったと認められる者
賞の対象期間	2010年10月から2020年9月までに発表されたものとする。	2015年10月から2020年9月までに行なった活動とする。	2018年10月から2020年9月までに行なった活動とする。	2015年10月から2020年9月までに行なった活動とする。	2015年10月から2020年9月までに行なったものとする。	2015年10月から2020年9月までに行なったものとする。	2018年10月から2020年9月までに行なったものとする。	2020年度末に65歳以上に達している者
賞の対象業績	ハンドブック・便覧の類の著書および翻訳書は対象としない。また、改訂版にあつては全面改訂したものを対象とする。							
受賞候補者	著者	個人または組織・団体				個人	個人または組織・団体	個人
推薦の方法	正会員および名誉会員の自薦、他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績(コピー可)を1部提出する(いずれも返却しない)。	正会員および名誉会員の自薦、他薦または技術者継続教育機構 CPD 運営委員会の推薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績(コピー可)を1部提出する(いずれも返却しない)。	正会員および名誉会員の自薦、他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績(コピー可)を1部提出する(いずれも返却しない)。			正会員および名誉会員の自薦、他薦または国際委員会の推薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績(コピー可)を1部提出する(いずれも返却しない)。	正会員および名誉会員の自薦、他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績(コピー可)を1部提出する(いずれも返却しない)。	正会員および名誉会員の自薦、他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績(コピー可)を1部提出する(いずれも返却しない)。
選考の方法	学会賞選考委員会において行う							
賞の決定	理事会において行う							
表彰	2021年度(第70回)農業農村工学会大会講演会において会長が授与する							
推薦締切	2020年10月末日							
推薦書の提出先	〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4 公益社団法人 農業農村工学会 学会賞選考委員会宛							

## 今年もやります! 農業農村工学会ミニ動画コンテスト“こりゃ映像! 2020”

- 農業農村工学会広報委員会では、昨年に引き続き、下記のとおり、農業農村工学を紹介する動画を広く募集します。
1. 応募締切 2020年7月31日(金)17:00
  2. 動画の制限時間 60秒以内
  3. 2020年度のテーマ 農業用水
  4. 応募資格 なし(どなたでも応募できます)

5. 応募方法 動画を YouTube へ指定されたタブを付けてアップロードする。
6. 審査方法 広報委員会動画ワーキングチームで審議の上、最優秀賞 1 作品、優秀賞 2 作品を決定する。
7. 賞 金 最優秀賞 (1 作品) 2 万円  
優秀賞 (2 作品) 各 1 万円
8. アップロード方法
  - ① 動画を作成する。
  - ② YouTube にアップロードする (9. 参考資料を参照)。
  - ③ タグに 3 つのワード (jsidre2020, こりゃ映像, (農業用水) を入れる。
  - ④ カテゴリに「科学と技術」を選ぶ。
  - ⑤ 下記の情報を広報委員会動画 WT (new-suido@jsidre.or.jp) 宛にメールで送る。  
入賞賞金をお渡しするのに必要な情報 (氏名, 年齢, 性別, 所属, 連絡先, YouTube 動画の URL)
9. 参考資料

- ・ YouTube に PC から動画をアップロードする方法  
<http://douga-tec.com/?p=4974>
  - ・ スマホから YouTube に動画をアップロードするには— Android 入門  
<http://android.f-tools.net/Q-and-A/YouTube-Upload.html>
- <参考>こりゃ映像 2019 結果 (テーマ: 農業用水)
- 最優秀賞: 津軽を潤す農業用水  
弘前大学 森田七海  
<https://www.youtube.com/watch?v=F1o4-UXFjG4&feature=share>
- 優秀賞: 3 匹のこぶたで学ぶ農業用水  
農研機構農村工学研究部門 新村麻実  
<https://youtu.be/ByN1E1X1szQ>
- 優秀賞: 奄美群島 沖永良部島  
studio GHIKLI  
<https://www.youtube.com/watch?v=YkaRDwJdESI>

### 新刊「改訂 6 版 農業農村工学標準用語事典」の発刊

農業農村工学会では、創立 90 周年の記念事業として、「改訂 6 版 農業農村工学標準用語事典」を 2019 年 8 月 27 日に出版いたしました。

	会員価格	非会員価格
定 価	3,700 円 + 税	4,500 円 + 税

#### 図書の購入方法

##### I. 個人・法人の場合 (賛助会員を除く)

以下のいずれかによる代金先払いをお願いします。または代金引換をご利用ください。

- ① 郵便振替: 郵便局の払込取扱票の通信欄に図書名・冊数・送付先・担当者名・連絡先をご記入ください。  
振込口座番号: 00160-8-47993 加入者名: 公益社団法人 農業農村工学会

- ② 現金書留: 図書名・冊数・送付先・担当者名・連絡先を記載した注文書を同封してください。
- ③ 代金引換: 図書名・冊数・送付先・担当者名・連絡先を記載した注文書に「代引希望」と書き添えて E-mail か FAX でお送りください。別途、代引手数料と送料の実費がかかりますので担当者からご連絡いたします。

##### II. 官公庁の公費購入および賛助会員の場合

図書名・冊数・送付先・担当者名・連絡先を記載した注文書を E-mail か FAX でお送りください。

##### III. 送料

1 冊 200 円, 2 冊 400 円, 3 冊以上 600 円

問合せ先 (公社) 農業農村工学会 図書係

E-mail: suido@jsidre.or.jp

### お願い!! 新技術開発と人材確保・育成のための学術基金制度へのご寄付

新型コロナウイルスの対策として学会で 2020 年度の学生年会費を免除することが決定しました。また、大学改革の第二幕を迎えている現在、若手の研究者のみならず、教授を含めた大学教員の研究環境は悪化の一途を辿っており、研究費の削減から人材の育成も困難になっています。そのため、産官学の連携協力の強化を進めているところですが、一環として、学会にある学術基金の拡充が喫緊の課題となっています。使用目的を明確化していますので、ほかに使用することはなく、税制上の優遇措置もあります。新技術の開発と人材の確保・育成のため、会員各位からの多くのご支援をいただきたく、衷心よりお願い

申し上げます。

学術基金の枠組みは、以下のとおりです。

- ① ダム保全管理工学に関する調査・研究の推進
  - ・ 気候変動、国土強靱化に対応した既存ダムの保全管理工学の体系化を推進
- ② 大規模コンクリート構造物の設計・施工に関する調査・研究の推進
  - ・ 頭首工などコンクリートの大型構造物のプレキャスト化など効率的な施工による生産性の向上や工事期間の短縮に資する技術開発

- ③ ①, ②以外の分野および学際的分野に関する調査・研究の推進
- ・上記①, ②以外, たとえばICTなど新たに取り組んでほしい技術
- ④ 国際学術会議への出席等の国際交流の推進
- ⑤ 若手研究者の育成の推進
- ⑥ 顕著な功績のあった農業工学遺産の保護等の推進
- ・青山霊園にある上野英三郎博士の墓所管理
  - ・世界かんがい遺産などの保護に資する調査・研究 など
- ⑦ その他 (学会に一任)

詳しくは学会ホームページ ([http://www.jsidre.or.jp/gakujutsukikin\\_kifuno-onegai/](http://www.jsidre.or.jp/gakujutsukikin_kifuno-onegai/)) をご覧ください。

個人会員一口 5,000円 (何口でも可)

法人会員一口 50,000円 (何口でも可)

送金方法 銀行振込および郵便振替でお願いいたします。

銀行: みずほ銀行新橋支店

普通預金 No.1569058

口座名 (社) 農業農村工学会学術基金

郵便振替: 00140-2-54031

加入者名 農業農村工学会学術基金

## CPD 機構から重要なお知らせ 農業農村工学会継続教育部



### 1. 2019年度分「CPD取得一覧表」(途中経過版)はpdfの掲載となります

CPD登録者様へのサービスとして、前年度分の「CPD取得一覧表」について、紙媒体による発送(8月に途中経過版・11月に最終確定版)と、Web上のpdfでの掲載(11月の最終確定版のみ)をさせていただいていましたが、CPD登録者様へのサービス向上と新型コロナウイルス感染防止による業務遅延を防ぐため、2020年8月に予定していた2019年度分「CPD取得一覧表」(途中経過版)の発送は行わず、Web上のpdf掲載に代えさせていただきます。なお、2019年度分「CPD取得一覧表」(最終確定版)は従来通り11月に発送予定です。

前年度の「CPD取得一覧表」	これまで		2020年度	
	紙媒体発送	Web上pdf	紙媒体発送	Web上pdf
8月(途中経過版)	○	×	×	○
11月(最終確定版)	○	○	○	○

2019年度分「CPD取得一覧表」(途中経過版)が必要な方は、2020年8月以降に技術者継続教育機構のホームページ画面から各自、次の手順によりダウンロードをお願いいたします。

■ Webシステムを利用する > ⇒ Web利用メニュー画面へ > Web利用メニューへ > ログイン > ○ CPD取得一覧表のダウンロード > ○ 2019年度分一覧表 > ダウンロード

### 2. 前年度のCPD記録の申請期限の変更について(2021年度より)

これまで、前年度の研鑽記録の申請期限を「翌年度の8月末日」としていましたが、多くのCPD登録者様から「前年度のCPD結果の確定を早くしてもらいたい」との要望があることから、2021年度より、前年度の研鑽記録の申請期限を「翌年度の6月末日」に変更し、前年度の審査結果の早期確定を図ります。2020年度記録の申請期限は「2021年6月30日」となりますので、研修受講や自己学習の実施後は、速やかにWeb登録をお願いします。

## 学会誌掲載報文等によるCPD通信教育の参加者募集!!

農業農村工学会では、学会員であり、かつ技術者継続教育機構のCPD個人登録者の方がCPD単位を在宅のまま取得できる方法として、平成17年10号から農業農村工学会誌「水土の知」誌上で「CPD通信教育」を実施しています。学会員であり、かつCPD個人登録者は、どなたでも無料で参加することができ、通信教育分【ac】として年間最大24cpdを取得する大きなチャンスとなっています。この機会に、是非CPD通信教育へご参加ください。

なお、解答内容については技術者倫理に則り、自らの責任で送信してください。

#### 1. 参加資格

農業農村工学会の個人会員であり、かつ技術者継続教育機構のCPD個人登録者

#### 2. 出題内容と出題方法

3カ月前に発行された農業農村工学会誌に掲載された報文等の事実的内容から、択一式で毎月10問を出題

#### 3. 解答方法

Web画面に正解と思う番号を入力し、送信(事前にWeb利用登録が必要)

#### 4. 解答期限

問題掲載月の月から翌月末日まで

(例: 学会誌7号掲載の問題は8月末日が解答期限)

#### 5. 取得できるCPD単位

10問正解で2cpdを、7~9問正解で1.5cpdを自動登録(正解数6問以下の場合はCPD単位の付与はされません)

#### 6. 自動登録の時期

取得したCPD単位は、解答期限最終日の翌月初旬に自動登録されます。

## 2021年の学会誌表紙写真の募集

学会誌企画・編集委員会では、2021年発行の学会誌も引き続き学会員の皆さまからの写真などを基本に表紙を飾ることとします。以下の趣旨を参考に魅力ある写真などをふるってご応募ください。

### 趣 旨

現代に入り農業の近代化のために、農業農村工学の粋を集めた多くの農業（水利）施設が造成され、農業や農村の基盤を支えています。そして、近年、それらも更新や機能保全を重ね施設の様態も変化してきています。さらに、日本の農業農村工学の成果は技術移転により、海外の多くの国々で現地適用され、それらの国々の食料供給と農業生産の基盤を支えています。農業農村の現場で活躍される技術者、現場での調査研究に邁進されている研究者・学生の皆さま、国内外の農村地域における農業施設・構造物、特に新たに完成した施設や施工中の現場事例および国外においては日本の関連技術が適用された事例などの匠（造形美、用の美、融合の美）とそれを含む景観を広く学会員にご紹介ください。

### 記

#### 1. テーマ

「農業（水利）施設・構造物とそれらに支えられた農地・地域の景観など：現代の最新技術と苦勞が垣間見える造形美・用の美など」

#### 2. 対象巻号

学会誌第89巻（2021年第1～12号）

#### 3. 写真などの種類

応募写真はデジタル、フィルムを問わず六つ切り以上四つ切り以下のサイズにプリントしたものとします。プリントは「写真用紙—フォトペーパー／滑面タイプ」を使用してください。四つ切りワイド、A4サイズも含まれます。なお、六つ切りは203×254mm、四つ切りは254×305mm、同ワイドは254×356mm、A4は210×297mmです。カラー、モノクロは問いません。採用となった写真についてはデジタル写真の場合に限って画像データを送っていただきます。一点につき5MB以下とし、これを超えるものはCDまたはDVDにて送ってください。形式はJPEGのみに限定します。

#### 4. 枚数

応募写真に制限はありませんが、未発表のものに限ります。

#### 5. 締切

夏季 2020年9月30日

※応募時、過去1年以内に撮影したのものに限ります。

#### 6. 審査

審査委員会（編集委員と写真家）で選考します。

#### 7. 結果発表

学会誌第89巻第1号で採用作品と掲載号を発表し、採用作品は2021年度大会講演会会場内でパネル展示します。

#### 8. 被写体の説明文または「Cover History（表紙写真由来）」の執筆および写真使用料について

採用作品の応募者には、被写体の説明文（500字程度）をご執筆いただきます。また、ご希望の応募者には、撮影の動機、被写体にひかれた点、被写体の説明などを、学会誌掲載の「Cover History（表紙写真由来）」にご執筆いただくことができます。ご執筆の詳細は、採用決定時に応募者に直接お知らせします。また、採用作品には規定の写真使用料（1点につき1万円）をお支払いします。なお、すべての応募作品が不採用となった応募者には記念品をお送りします。

#### 9. 使用権・著作権

採用作品の使用権および著作権は（公社）農業農村工学会に属します。

#### 10. 注意点

審査は上記の趣旨を十分理解されている写真であるか、表紙写真の質として耐えうるかということを重視します。具体的には、農業施設・構造物の形状や機能が、その写真から十分に読みとれること（花などの情緒物に埋没しないこと）が採用の条件となります。

また、被写体の肖像権や権利関係については許可等、十分ご注意ください。

#### 11. 応募方法および応募先

学会ホームページ（<http://www.jsidre.or.jp/format/>）より、投稿票をダウンロードし、タイトル、郵便番号、住所、氏名、勤務先、電話番号、E-mailアドレス、写真のテーマ、撮影場所、撮影年月日、対象物の固有名称（固有名詞）、対象物をめぐる歴史的背景等の説明を記入し、応募写真の裏面に貼付してお送りください。

なお、原則として、応募写真は返却いたしません。

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4

（公社）農業農村工学会

農業農村工学会誌企画・編集委員会「表紙写真公募」係

TEL：03-3436-3418 FAX：03-3435-8494

E-mail：henshu@jsidre.or.jp

「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております！

### 自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。投稿の際には、農業農村工学会ホームページ（<http://www.jsidre.or.jp/>

journal/）に掲載の「農業農村工学会誌投稿要項」、「農業農村工学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上、ご投稿ください。

## 学会誌第 88 巻の小特集のテーマ

小 特 集 テ ー マ	要 旨 締 切 (A4判 1,500字以内)
第88巻第 8号 「多様な主体が住み続けられる農村」の振興 (仮)	終了
9号 農業用ため池の持続的な保全管理手法 (仮)	終了
10号 高品質化・高収益化のための水管理・灌漑技術 (仮)	終了
11号 農業水利施設における外来生物対策 (仮)	終了
12号 農業農村工学分野の海外社会実装事例—中村 哲医師を偲ぶ— (仮)	終了
第89巻第 1号 農業農村工学における ICT 利活用の現状と将来展望 (仮)	7月10日
2号 中山間地域における水路インフラの保全・活用と農業農村工学 (仮)	8月10日

今後取り上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集しておりますので、学会誌企画・編集委員会あてにお寄せください。なお、小特集テーマが仮題となっているものは、予告なく変更することがございます。

採用された原稿の分量は、刷上り4ページとなっておりますので、ご執筆の際には厳守いただきますよう、お願いいたします。

送付先 〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4  
(公社)農業農村工学会  
農業農村工学会誌企画・編集委員会あて  
TEL: 03-3436-3418 FAX: 03-3435-8494  
E-mail: henshu@jsidre.or.jp

## 第 89 巻第 1 号テーマ「農業農村工学における ICT 利活用の現状と将来展望」(仮)

ICT (情報通信技術) の発展に伴い、IoT (Internet of Things)、ビッグデータ、ロボット、人工知能 (AI) などに關する新たな科学技術の進展が社会の課題解決と経済成長に大きな役割を果たすことが期待されています。農業分野では担い手の減少や高齢化の進行に伴う労働力不足と平均経営耕地面積の拡大が大きな課題とされており、農作業の省力化や農業従事者の負担軽減を目的に、ICT や人工知能 (AI) などの新技術によるスマート農業の研究開発および現場への実証・普及や環境整備への取組みが注目されています。たとえば、無人飛行機 (Unmanned aerial vehicle; UAV) を活用した農地・施設情報の可視化や AI 技術を応用した画像診断による施設の機能診断、IoT を活用した水管理の自動化・効率化などの新技術開発

が進められており、水管理や営農のほか、施設の保全管理などさまざまな分野で高度化・省力化が推進されるものと考えられます。2019 年度には、農林水産省がスマート農業の本格的な現場実装を目的とした「農業新技術の現場実装推進プログラム」を公表するなど、早急な開発および普及促進が期待されています。

ICT に関連したテーマについては、これまでに、第 86 巻第 3, 4 号などで小特集を企画してきましたが、ICT 技術の進歩はめざましいものがあります。このため、本小特集では、再度、農業農村工学における ICT の利活用に関する取組み事例や課題、最新の技術開発や成果、さらに将来的な展望などについて、広く報文を募集いたします。

## 第 89 巻第 2 号テーマ「中山間地域における水路インフラの保全・活用と農業農村工学」(仮)

山腹水路をはじめとして、中山間地域に造成された水路は、生産環境、生活環境、自然環境の面で重要な役割を果たしています。第 88 巻第 8 号で小特集を行ったテーマである「多様な主体が住み続けられる農村」としての中山間地域を目指す上では、これらの水路の保全管理が重要です。

水路の持続的な保全管理を通して、農林地やそれを取り巻く環境が維持されれば、中山間地域を含む流域上流部が持つ、洪水防止や水源涵養、土壌浸食防止などの生態系サービス (農林地の持つ多面的機能) の発現も期待されるため、その果たす役割は大きいといえます。

しかし、中山間地域の収益の低さ、管理の困難さや利便性の低さから、若年層などが都市部へ移住するなど、地域の人口減少や高齢化によって産業が弱体化し、それに伴って水路施設の維持・管理ができず、老朽化が深刻です。また近年の ICT 導入による精密農業への取組みについても、生産性・収益性の観点から、インフラ整備が難しい中山間地域には目を向けられず取

り残され、水路などの管理不全が課題となっています。

本小特集では、中山間地域における水路インフラの保全・管理の必要性・重要性に向けた議論を活性化する上で参考となる報文を広く会員の皆様から募集します。特に農業農村工学分野に関係の深い、

- ① 収益性の低い中山間地域の生産・生活用インフラの一つである水路を保全する理由は何か?
- ② 山腹水路の持つ今まで気が付かなかった価値は何か?
- ③ 生産・生活用インフラとしての水路保全という視点を離れ、農業遺産のような伝統的・歴史的価値に視点を移して保全・管理の資源を使った方が良いのか?

などを考えるため、現在行っている水路保全のための特色ある枠組み・取組み・仕組み、農業遺産に認定された水路と町おこし、生態系サービスの視点から見る水路保全・活用、などの報告を期待します。



## 農業農村工学会論文集におけるコレスポンディングオーサーの記載

農業農村工学会論文集は、現在コレスポンディングオーサーを記載するシステムになっております。投稿される皆様に改めてご案内申し上げます。農業農村工学会論文集投稿の手引き(平成27年3月16日改正:第236回理事会報告)の「6.2 投稿手順」に「@追加投稿情報(会員番号, コレスポンディングオーサー等)の入力」の記載があります。

また、投稿システムの著者マニュアル(Ver.15.0~, 2018年7月改訂)に「3-6 追加登録情報を入力する」がありますのでご

確認ください。さらに、論文集の完全版下原稿(邦文)の作成例 Ver.5 などにも記載例が示されていますので、併せてご確認ください(学会ホームページ [http://www.jsidre.or.jp/how\\_to\\_post/](http://www.jsidre.or.jp/how_to_post/) からダウンロードできます)。

なお、掲載済みの論文に遡って、コレスポンディングオーサーの証明を必要とされる方は、農業農村工学会論文集企画・編集委員会(E-mail:ronbun@jsidre.or.jp)まで、ご連絡ください。

## PAWEES 台湾大会 2020 (台北) の1年延期

第19回国際水田・水環境工学会(PAWEES)国際会議は、台湾台北において2020年10月29~30日に開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延の影響により参加者の健康と安全を考慮して1年延期となりました。開催

日については、2021年に状況が改善された早期の段階で告知される予定です。詳細および今後の動向については、PAWEESのWebサイト(<http://pawees.net/>)をご覧ください。

## 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2020年7月から2021年6月までの編集体制と編集事務局

国際水田・水環境工学会(International Society of Paddy and Water Environment Engineering: PAWEES)では、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を発行しています。

本ジャーナルは、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関わる研究論文、技術論文が多数掲載されていますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。また、2018年のインパクトファクター(IF)は1.264となり、国際ジャーナル誌としての位置づけがますます向上しています。

水田農業における土地、水、施設および環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としており、掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑(水配分管理, 水収支, 灌漑施設, 栽培管理)
- ② 排水(排水管理, 排水施設)
- ③ 土壌保全(土壌改良, 土壌物理)
- ④ 水資源保全(水源開発, 水文)
- ⑤ 水田の多面的機能(洪水調節, 地下水涵養など)
- ⑥ 生態系の保全(水生, 陸生動物植物の生態系)
- ⑦ 水利施設と減災・防災(施設管理, 地すべり, 気候変動, 災害防止など)
- ⑧ 地域計画(農村計画, 土地利用計画など)
- ⑨ バイオ環境システム(水田農業と水環境, 土壌環境, 気象環境)
- ⑩ 水田の多目的利用(田畑転換, 施設園芸)
- ⑪ 農業政策(農村振興, 条件不利地の支援策など)

また、世界11カ国からEditor(20名)を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名なSpringer社からの刊行です。掲載論文は、Review, Article, Technical Report および Short Communication の4種類です。

一方、2020年7月から、新たな編集体制をスタートさせました。詳細は以下のとおりです。

### 編集体制

#### ・Editor-in-Chief

**Dr. Takao MASUMOTO**

Faculty of Bioresource Sciences, Akita Prefectural University, Akita, Japan

#### ・Associate Editors-in-Chief

**Dr. Seong-Joon Kim**

Konkuk University, Korea

**Dr. Chen-Wuing Liu**

National Taiwan University, Taiwan, ROC

#### ・Editors 11カ国から20名

#### ・Editorial Advisors 29名

#### ・Chief Managing Editor

**Dr. Inhong SONG**

Department of Landscape Architecture and Rural Systems Engineering, Seoul National University, Korea

#### ・Managing Editors

**Dr. Chihhao FAN**

Department of Bioenvironmental Systems Engineering,

National Taiwan University, Rep. of China  
**Dr. Masayuki FUJIHARA**

Graduate School of Agriculture, Kyoto University, Japan  
**Dr. Eunmi HONG**

School of Natural Resources and Environmental Science,  
 Kangwon National University, Korea

**Dr. Toshiaki IIDA**  
 Graduate School of Agricultural and Life Science,  
 The University of Tokyo, Japan

**Dr. Kuo-Wei LIAO**  
 Department of Bioenvironmental Systems Engineering,  
 National Taiwan University, Rep. of China

**Dr. Soji SHINDO**  
 Rural Development Division, Japan International  
 Research Center for Agricultural Science (JIRCAS), Japan

編集事務局 (2022年6月まで韓国担当)

・ **Dr. Inhong SONG**  
 Department of Landscape Architecture and Rural  
 Systems Engineering, Seoul National University  
 1 Gwanak-ro, Gwanak-Gu, Seoul, 151-742, KOREA

TEL : +82-2-880-4581

FAX : Fax: +82-2-873-2087

E-mail : inhongs@snu.ac.kr

投稿先 : オンライン投稿 (<http://pawe.edmgr.com/>) になります。

投稿資格 : 筆者が農業農村工学会員でPWE誌の購読者であること。

投稿要領等 : <http://pawe.edmgr.com/>に詳細を記載しています。

発行スケジュール : 年4回 (オンラインジャーナル)

購読料 : 正会員・名誉会員 9,000円+税

学生会員 (院生含む) 4,500円+税

非会員の方は購読できません。購読を希望される方は、まず農業農村工学会にご入会の上、お申し込みください。

なお、オンラインジャーナルへの完全移行に伴い、2016年度からの購読はパスワードによるWeb上での閲覧になっています。冊子体の配布はありません。

申込先 : 農業農村工学会事務局 ([suido@jsidre.or.jp](mailto:suido@jsidre.or.jp)) まで会員番号を明記の上、お申し込みください。

## 令和2年度東北支部総会・第62回東北支部研究発表会ならびに 第52回東北支部研修会・第42回地方講習会の開催について (第2報)

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



### 1. 開催について

東北支部では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、支部総会・研究発表会・支部研修会・地方講習会について、本誌第6号に掲載した通常形態での開催ではなく、Web開催により実施する予定です。

開催方法の詳細については、今後検討の上、本誌第8号に掲載します。

なお、研究発表の申込みについては受け付けますので、「2. 研究発表の申込み」のとおりお申し込みください。

### 2. 研究発表の申込み

#### (1) 申込み・原稿受付期間

令和2年8月17日(月)～9月18日(金)

#### (2) 申込み・問合せ先

〒036-8561 青森県弘前市大字文京町3

弘前大学農学生命科学部 地域環境工学科 丸居 篤

TEL : 0172-39-3856

E-mail : [marui@hirosaki-u.ac.jp](mailto:marui@hirosaki-u.ac.jp)

#### (3) 要領

研究発表要旨集原稿の書き方、投稿票ファイルについては、農業農村工学会東北支部のホームページ (<http://www.jsidre.or.jp/tohoku/>) に掲載していますので、ご参照ください。

## 混相流シンポジウム2020の開催

### 1. 主催 日本混相流学会

協賛 農業農村工学会ほか34学協会

### 2. 日時 2020年8月21(金)～23日(日)

### 3. 会場 オンライン開催

### 4. 問合せ先

混相流シンポジウム2020実行委員会

E-mail : [konsosymp@jsmf.gr.jp](mailto:konsosymp@jsmf.gr.jp)

### 5. その他

詳しくは、混相流シンポジウム2020のホームページ (<http://mfsymp.convention-system.com/>) をご覧ください。

第36回 ファジィ システム シンポジウム / FSS2020 の開催

- |  |  |
|--|--|
| <p>1. 主 催 日本知能情報ファジィ学会<br/>                 共 催 国際ファジィシステム学会<br/>                 協 賛 農業農村工学会ほか34団体</p> <p>2. 日 時 2020年9月7(月)～9日(水)</p> <p>3. 会 場 オンライン開催</p> <p>4. 問合せ先</p> | <p>FSS2020 実行委員会<br/>                 E-mail : fss2020_committee@ml.cse.kyutech.ac.jp</p> <p>5. その他<br/>                 詳しくは、第36回 ファジィ システム シンポジウム / FSS<br/>                 2020 のホームページ (<a href="http://fss.j-soft.org/2020/">http://fss.j-soft.org/2020/</a>) をご覧ください。</p> |
|--|--|

資格試験のための **農業農村工学必携** 第二版

公益社団法人 農業農村工学会 編

本書の初版は「改訂七版 農業農村工学ハンドブック（平成22年発行）」をコンパクトに再編集し、平成24年6月に発行いたしました。

資格試験に挑戦する人にとっては農業農村工学の全容を短時間で確認するテキストとして、また、農業農村工学を学ぶ学生にとっては教科書として利用できるものです。

第二版は、初版で要所に挿入されていた「確認テスト」を最近の資格試験問題の動向に合わせて増補更新し、「テキスト」と「問題集」の分冊形式としています。是非ともご購入の上、お役立てください。



主要目次

<p>[テキスト]                  本編                  第1部 農業農村工学概説                  第2部 農業農村の整備計画                  第3部 設計・施工                  第4部 管理</p>	<p>第5部 事業の施行                  基礎編                  第1部 数学・情報                  第2部 土                  第3部 水                  第4部 基盤</p>	<p>第5部 農業・環境                  第6部 社会                  索引</p> <p>[問題集]</p>
---	--	---

体裁：B5判 約520ページ  
 定価：本体2,570円＋税  
 送料：1セットにつき200円

発行：公益社団法人 農業農村工学会  
 TEL：03-3436-3418 FAX：03-3435-8494 E-mail：suido@jsidre.or.jp  
 学会ホームページ： <http://www.jsidre.or.jp/>